

## 一目で分かる浸水ここまで 阿賀野市下里地区

～ 水防災に関する意識付け ～

～ 阿賀野川の最大規模の洪水を想定した浸水深さ標識を設置 ～

阿賀野市下里地区の住民が、阿賀野川沿川で初となる「まるごとまちごとハザードマップ」標識看板を地区内の電柱20ヶ所に設置します。

この取り組みは、計画段階から設置にいたるまで、阿賀野川河川事務所（河川管理者）と阿賀野市（自治体）、下里地区住民（自治会）が協働しながら取り組んできました。

まちなかの見える所に看板を設置することで、日常的に洪水への意識を高めるとともに、浸水深・避難所等の知識の普及が進み、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋がることを期待しています。

日時	平成29年3月26日（日）
内容	避難訓練 10時30分から まるまちHM標識引渡し 11時00頃から まるまちHM標識設置 11時15分から
場所	下里集落センター（住所：新潟県阿賀野市下里87）
参加	阿賀野市下里地区自治会 約70名（予定） 阿賀野市市役所 阿賀野川河川事務所

### 投げ込み先

新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ

### 【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

副所長(技術) 南雲 克彦

調査課長 浅見 和人

〒956-0032 新潟市秋葉区南町14-28

電話 0250-22-2211(代)

事務所 HP <http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>

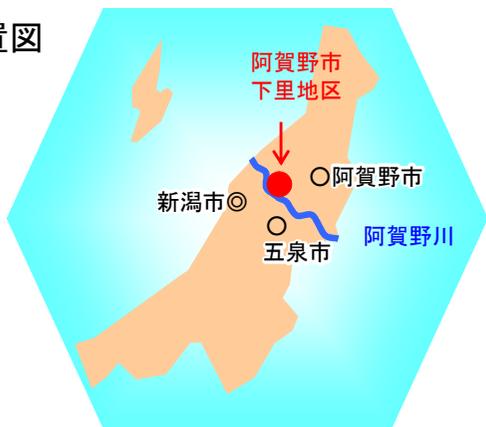
事務所 twitter [https://twitter.com/mlit\\_aganogawa](https://twitter.com/mlit_aganogawa)



# 阿賀野市下里地区 まるごとまちごとハザードマップ

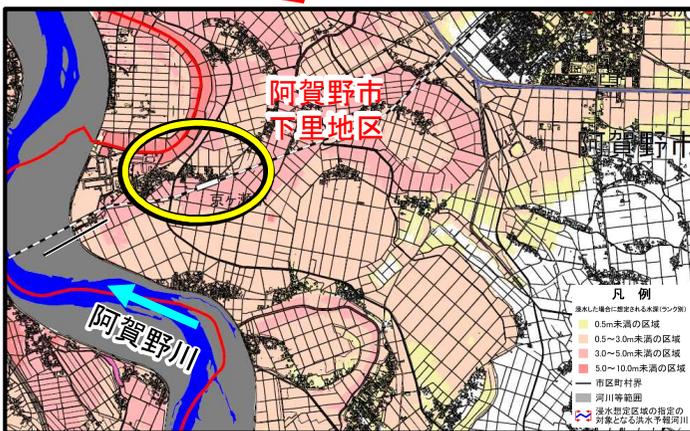
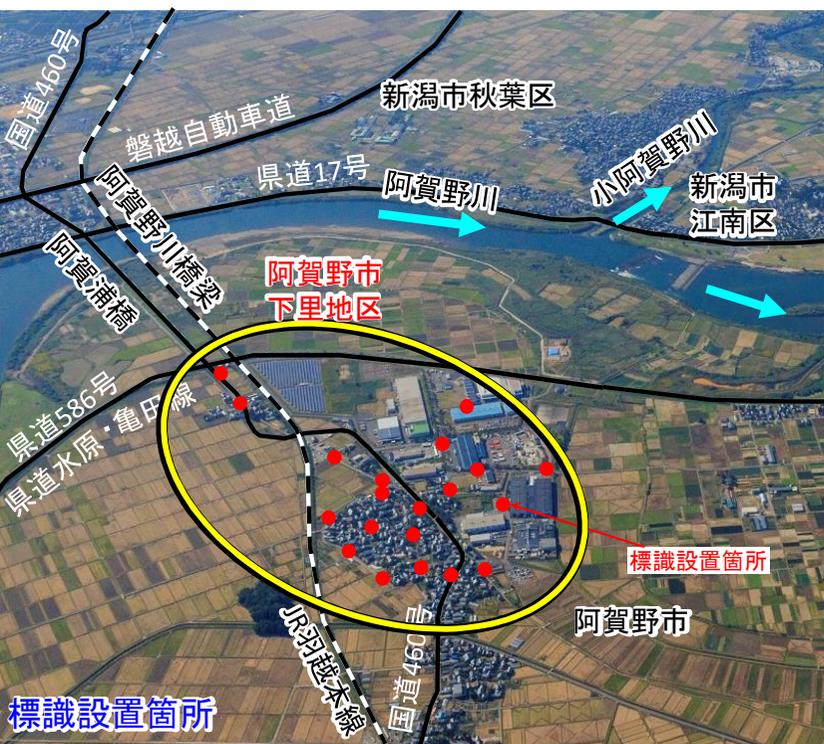
- 阿賀野市下里地区住民、阿賀野市、阿賀野川河川事務所が協働し、阿賀野川沿川では初となる「洪水の浸水想定深さを示した「まるごとまちごとハザードマップ(まるまちHM)標識を阿賀野市下里地区内に設置。
- まちなかの見える所に看板を設置することで、日常的に洪水への意識を高めるとともに、浸水深・避難所等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋がることが期待されます。

位置図



まるごとまちごとハザードマップ(まるまちHM)は、主に図面などで活用される洪水ハザードマップに対し、居住地域をまるごとハザードマップに見立て、生活空間である“まちなか”に、想定される浸水深や避難所の情報などを標示するものです。

標識QRコードをスマホ等で読み込むと、周辺の浸水想定区域・浸水深がわかるHPへアクセス



阿賀野川浸水想定区域図 [http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/sonae/sinsui/agano\\_main.html](http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/sonae/sinsui/agano_main.html)

# 阿賀野市下里地区 まるごとまちごとハザードマップ

○ 避難対応の必要性が高い阿賀野市下里地区をモデル地区とし、事前計画段階から活用に至るまで、地域住民、阿賀野市、阿賀野川河川事務所(河川管理者)が連携・協力して実施 (平成29年3月26設置)

- 日常時から水防災への意識を高める
- 浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等



発災時に命を守るための住民の主体的な避難行動を促す被害を最小限にとどめる



下里地区(自治会)住民



H28年出水期に向け、標識設置までの間、浸水高さが判る青いテープを設置(地域住民)



下里地区(自治会)住民



阿賀野川河川事務所



阿賀野市

新たに公表した想定最大規模洪水における浸水想定等を自治会役員に説明

住民が、水害等災害発生時の自助・共助の重要性の再確認を目的とした「防災塾」を開催

- 設置場所の選定
- 標識設置の設置(・管理)
- 避難訓練の実施

● 現地調査

- 対象エリア選定
- 電柱所有者等協議
- 標識の(設置・)管理

- 表示内容等の選定
- 標識デザイン決定

● 住民への説明

- 浸水想定等の収集・分析
- 標識の製作
- 標識の管理

阿賀野市

阿賀野川河川事務所

※自治体・自治会が行う管理とは日常の点検や軽微な修繕をいう